

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社 ウッドワン

上場取引所 東大

 コード番号 7898 URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部部長兼経理部長 (氏名) 澤井 誠

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	58,325	—	1,228	—	339	—	△11,769	—
20年3月期第3四半期	71,206	11.1	1,267	△57.0	1,673	△15.0	1,258	△70.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△252.05	—
20年3月期第3四半期	26.77	26.72

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	109,190	14,288	14,288	12.9	302.80	
20年3月期	132,016	43,171	43,171	27.4	775.53	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 14,136百万円 20年3月期 36,219百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,500	△20.0	1,400	11.3	350	—	△12,200	—	△261.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 — 社(社名) 除外 1社(社名 株式会社ベルテクノ)
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 - ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期 49,209,846株	20年3月期 49,209,846株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期 2,524,828株	20年3月期 2,507,256株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期 46,694,128株	20年3月期第3四半期 47,014,822株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 平成20年10月17日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成21年2月10日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発し平成20年9月の米国大手証券会社の破綻以降、世界的な金融市場の混乱や為替相場の変動が实体经济に影響を与え、急速に企業の業績が悪化しました。また、雇用の削減により個人消費が伸び悩むなど景気後退が鮮明になりました。

住宅業界におきましては、平成19年6月に施行された改正建築基準法による新設住宅着工戸数の激減は、一巡し、持家に関しては、一部明るさが見えはじめたと思われましたが、平成20年9月以降の世界的な金融不安から、再び10月以降の持家の新設住宅着工戸数は前年比を下回り、先行きは更に不透明感を増してきました。

このような厳しい環境下、当社グループは、当期より木質建材から住宅設備機器までの窓口を一本化したお客様への利便性とサービスの向上、住宅建材事業と住宅設備機器事業との営業・物流拠点の統廃合、新商品の開発やショールーム戦略などシナジー効果の実現をめざしております。

第1四半期連結会計期間においてキッチン扉に床や建具と同じ木質素材や木質柄シートを使用し、リビング・ダイニングに合わせてキッチンまでトータルコーディネートを実現したトータルスタイリングキッチン「スイージー」を発表し、お客様からも好評を得ております。

第2四半期連結会計期間において、内装ドア「ソフトアート」シリーズやキッチン「スイージー」シリーズとコーディネートが可能な洗面化粧台や浴室内部の壁パネル色を木質柄にできるシステムバス「美湯」シリーズを発売しました。

当第3四半期連結会計期間において従来の普及タイプフローリングに比べて一枚の化粧単板の長さ、巾ともに2倍の大きさの銘木フローリング「コンビットモノ4尺タイプ」や無垢フローリングに従来の「自然塗料仕上げ」に加え新たなラインナップとして「耐すり傷」性能を持った「ジュピーノ6尺うづくりタイプ」を発売しました。

また、ショールームのリニューアルを広島・新宿をはじめとして全国で順次行いました。木質建材でコーディネートされたルームにウッドワンブランドのキッチン・バス・洗面化粧台を組み込みトータルコーディネート提案に適した空間に改装し、リニューアル商談会の実施により来場者の皆様の好評を得ております。

更に懸命な拡販に努めましたが、売上高は当初予想を下回りました。また住宅建材事業はコスト削減に努めた結果、利益体質になりました。しかし、第3四半期連結会計期間は、第2四半期連結会計期間に引き続き、急激な為替変動による為替関係評価損を特別損失に計上し、四半期純利益は予想を下回りました。木質建材と住宅設備機器の融合に伴う新商品の発売と営業部門の統合による効果は、ショールームの充実も相俟って今後の業績向上として現れるものと思われま

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、58,325百万円(前年同期比18.1%減)、営業利益1,228百万円(前年同期比3.1%減)、経常利益339百万円(前年同期比79.7%減)、四半期純損失11,769百万円(前年同期は四半期純利益1,258百万円)となりました。第3四半期連結会計期末において主に為替等の急激な変動に伴い未決済為替予約取引の評価損6,687百万円、外貨建借入金評価損8,615百万円を為替差損として特別損失に計上、第1四半期連結会計期間に行った連結子会社であるIGC株式会社が所有する株式会社ベルテクノ及び株式会社ベル染色の株式売却により1,235百万円の子会社株式売却損を特別損失に計上しました。

なお、当第3四半期連結会計期間の連結売上高は、18,161百万円、営業利益1,075百万円、経常利益173百万円、四半期純損失6,808百万円となりました。また急激な為替変動による未決済為替予約取引の評価損や外貨建借入金評価損8,945百万円を為替差損として特別損失に計上しました。

(注)前連結会計年度の業績には、株式会社ベルテクノ及び株式会社ベル染色が含まれていましたが株式売却により、当連結会計年度より連結業績には含んでおりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態は前連結会計年度に比べ、資産は、22,826百万円減少し、負債は、6,056百万円増加し、純資産は、28,882百万円減少しています。主な要因は、第1四半期連結会計期間において連結子会社であるIGC株式会社が所有する株式会社ベルテクノ及び株式会社ベル染色の株式の売却による資産の減少と為替の影響により、未決済為替予約に伴う為替予約勘定の負債科目が増加し為替差損が増加したことによるものです。主な内訳科目として、資産は棚卸資産が4,506百万円、有形固定資産が15,684百万円、無形固定資産が1,678百万円減少し、投資その他の資産が2,846百万円増加しています。負債は借入金及び社債が4,790百万円減少し、支払手形及び買掛金が276百万円、為替予約が15,098百万円増加しています。純資産の減少は主に利益剰余金と少数株主持分の減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

住宅業界は、当連結会計年度末に向けて引き続き厳しい状況が続くものと思われます。当社グループも当第3四半期連結累計期間は、売上高に関しては、当初の予想を下回りました。また住宅建材事業はコスト削減に努めた結果、利益体質になりました。しかし、急激な為替変動による為替関係評価損を特別損失に計上し、四半期純利益は予想を下回りました。第3四半期連結会計期間の当社グループにおきましては、全国42箇所のショールームのリニューアルを順次実施し、従来の内装建材中心から、ウッドワンブランドのキッチン・バス・洗面化粧台を新たに組み込んだトータルコーディネート提案に適した空間として活用し、リニューアル商談会等の販促活動を行います。ウッドワンブランドの木質建材と住宅設備機器は、他の建材メーカーや住宅設備機器メーカーと差別化したコーディネートが可能な商品として提供できます。引き続き住宅建材事業と住宅設備機器事業との製造部門間の技術交流も積極的に行い業務の効率化、コスト削減に努め、新商品の投入と営業部門の統合に伴う効果は厳しい経済環境ですが今後の業績として現れるものと思われます。

なお、平成20年10月17日に発表いたしました通期の業績予想の修正をしております。当該業績予想の修正の詳細につきましては、平成21年2月10日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（除外）1社 株式会社ベルテクノ

当社は、平成20年4月22日に開催の取締役会の決議により、当社の連結子会社IGC株式会社が100%所有する株式会社ベルテクノの普通株式を全て売却しました。

これにより、株式会社ベルテクノは、当社の連結決算における連結の対象外となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 法人税等の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加算減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。その他影響額の僅少なものにつき一部簡便的な手続きを用いています。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（会計処理基準に関する事項の変更）

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として低価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しています。この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,273	4,502
受取手形及び売掛金	11,194	14,251
商品及び製品	7,616	9,850
仕掛品	2,823	6,117
原材料及び貯蔵品	9,642	8,620
その他	2,318	2,830
貸倒引当金	△123	△117
流動資産合計	37,745	46,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,944	13,456
機械装置及び運搬具(純額)	10,783	13,886
土地	11,461	13,081
立木(純額)	16,744	24,964
その他(純額)	2,304	2,532
有形固定資産合計	52,237	67,921
無形固定資産	577	2,255
投資その他の資産	18,630	15,783
固定資産合計	71,445	85,960
資産合計	109,190	132,016
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,680	7,404
短期借入金	29,363	25,081
1年内償還予定の社債	3,000	575
未払法人税等	74	217
引当金	110	598
為替予約	15,611	512
その他	3,471	4,243
流動負債合計	59,312	38,634
固定負債		
社債	12,000	16,087
長期借入金	21,444	28,854
引当金	823	840
その他	1,321	4,429
固定負債合計	35,589	50,211
負債合計	94,902	88,845

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,816	7,816
利益剰余金	8,983	21,313
自己株式	△2,125	△2,116
株主資本合計	21,999	34,338
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△180	△117
繰延ヘッジ損益	△5,341	752
為替換算調整勘定	△2,341	1,246
評価・換算差額等合計	△7,863	1,880
新株予約権	152	113
少数株主持分	0	6,838
純資産合計	14,288	43,171
負債純資産合計	109,190	132,016

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	58,325
売上原価	39,887
売上総利益	18,437
販売費及び一般管理費	17,209
営業利益	1,228
営業外収益	
受取利息	31
受取配当金	46
その他	459
営業外収益合計	537
営業外費用	
支払利息	821
売上割引	451
為替差損	80
その他	72
営業外費用合計	1,426
経常利益	339
特別利益	
固定資産売却益	6
役員退職慰労引当金戻入額	153
受取保険金	72
その他	53
特別利益合計	286
特別損失	
固定資産売却損	31
固定資産除却損	39
為替差損	15,303
投資有価証券売却損	34
子会社株式売却損	1,235
その他	219
特別損失合計	16,863
税金等調整前四半期純損失(△)	△16,237
法人税、住民税及び事業税	193
法人税等調整額	△4,592
法人税等合計	△4,398
少数株主損失(△)	△69
四半期純損失(△)	△11,769

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	18,161
売上原価	11,968
売上総利益	6,192
販売費及び一般管理費	5,117
営業利益	1,075
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	13
営業外収益合計	15
営業外費用	
支払利息	230
売上割引	163
為替差損	487
その他	35
営業外費用合計	916
経常利益	173
特別損失	
固定資産売却損	38
固定資産除却損	35
為替差損	8,945
投資有価証券売却損	21
特別損失合計	9,039
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,865
法人税、住民税及び事業税	15
法人税等調整額	△2,619
法人税等合計	△2,604
少数株主利益	547
四半期純損失(△)	△6,808

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第3四半期連結会計期末において主に為替等の急激な変動に伴い未決済為替予約取引の評価損6,687百万円、外貨建借入金評価損8,615百万円を為替差損として特別損失に計上したこと等により、第3四半期連結累計期間の四半期純損失は、11,769百万円となりました。主にこの影響により、利益剰余金が減少し、株主資本は、21,999百万円となっております。

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
	金額(百万円)	百分比(%)
I 売上高	71,206	100.0
II 売上原価	49,711	69.8
売上総利益	21,495	30.2
III 販売費及び一般管理費	20,227	28.4
営業利益	1,267	1.8
IV 営業外収益	2,287	3.2
V 営業外費用	1,881	2.6
経常利益	1,673	2.4
VI 特別利益	842	1.2
VII 特別損失	879	1.2
税金等調整前四半期純利益	1,637	2.3
法人税等	23	0.0
少数株主利益	356	0.5
四半期純利益	1,258	1.8

「参考」

四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,539	1,625
受取手形及び売掛金	9,014	8,116
商品及び製品	5,791	6,253
仕掛品	1,557	3,845
原材料及び貯蔵品	5,642	3,531
短期貸付金	9,058	6,552
その他	2,600	2,090
貸倒引当金	△48	△45
流動資産合計	35,156	31,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,558	5,855
機械装置及び運搬具(純額)	5,506	6,854
その他(純額)	9,785	9,571
有形固定資産合計	20,850	22,281
無形固定資産	440	481
投資その他の資産	23,925	21,702
固定資産合計	45,216	44,465
資産合計	80,372	76,436
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,254	4,105
短期借入金	17,457	11,260
1年内償還予定の社債	3,000	—
未払法人税等	60	61
引当金	—	423
為替予約	2,705	512
その他	2,964	2,612
流動負債合計	32,442	18,976
固定負債		
社債	12,000	15,000
長期借入金	5,394	10,237
引当金	760	604
その他	849	963
固定負債合計	19,004	26,805
負債合計	51,446	45,781

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,815	7,815
利益剰余金	16,194	17,696
自己株式	△2,125	△2,116
株主資本合計	29,209	30,719
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△198	△119
繰延ヘッジ損益	△236	△58
評価・換算差額等合計	△435	△177
新株予約権	152	113
純資産合計	28,925	30,655
負債純資産合計	80,372	76,436

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	50,376
売上原価	35,709
売上総利益	14,667
販売費及び一般管理費	13,694
営業利益	972
営業外収益	
受取利息	167
受取配当金	41
仕入割引	53
賃貸料収入	215
その他	283
営業外収益合計	761
営業外費用	
支払利息	323
社債利息	250
売上割引	427
その他	50
営業外費用合計	1,051
経常利益	681
特別利益	
固定資産売却益	0
投資有価証券売却益	2
貸倒引当金戻入益	7
受取保険金	70
その他	0
特別利益合計	81
特別損失	
固定資産売却損	31
固定資産除却損	26
為替差損	1,892
投資有価証券売却損	22
その他	144
特別損失合計	2,117
税引前四半期純損失(△)	△1,353
法人税、住民税及び事業税	72
法人税等調整額	△485
法人税等合計	△412
四半期純損失(△)	△940

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。